

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	第6回太平洋・島サミット開催に係る経費	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始・終了	担当課室	大洋州課	課長 飯田 慎一				
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第42条	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	太平洋島嶼国は、①第一次産品の海上輸送路として、また②日系人の存在を含め強い歴史的な紐帯を有する親日的な地域として、さらに③安保理改革に向けた支持を含め、国際場裡における強固な支持基盤として、我が国にとって極めて重要な地域である。他方で、地域の民間航空網が疎らであり、またインフラが脆弱であるため、我が国要人による島嶼国訪問は容易ではない。そのような中で、97年から3年毎に我が国で実施している本サミットは、我が国総理が、マルチ及びバイの両方で、域内国首脳と二国間関係及び域内の諸課題等につき定期的に意見交換することは、我が国の対島嶼国外交の礎となっているのみならず、我が国と太平洋島嶼国・地域との関係強化に資するものとなっている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本件サミットは、PIFメンバー国・地域より首脳夫妻等を招へい(豪、NZを除く)し、太平洋島嶼国・地域が直面する様々な問題について首脳レベルにおいて率直な意見交換を行う。なお、第6回は沖縄県名護市で開催することが決定している。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	70	—	—	107	
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	70	—	—	107	
	執行額	—	87	—				
	執行率(%)	—	124%	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	招聘した首脳級の数		成果実績		—	—	—	14
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	第6回太平洋・島サミットの開催及びサミットの開催回数		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	() (1)
単位当たりコスト	106(百万円/1回)		算出根拠					
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会議開催経費	—	97,614	平成24年度限りの経費				
	旅費	—	9,119					
計	0	106,733						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件サミット開催に際しては、事業の目標達成のみならず、競争性を高めコスト削減に努めることとしたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			